

# ともしび通信

## 特別伝道集会

### 喜びの発見-I have the joy-

### 教会設立 33周年 記念礼拝 6月 22日(日)



### テーマ：いつも喜んでいなさい

聖書「テサロニケ人への手紙第I (5章 16節)」

- ①教会学校 AM9:00~10:00
- ② I 礼拝 AM10:30~11:50
- ③ II 礼拝 PM2:30~3:45



特別講師 春田敏一 先生  
 姫路バプテスト教会・主任牧師(兵庫県姫路市)  
 関西単立バプテスト神学校 牧会上級神学科卒(TH.B)  
 姫路YMCA高等学院教師、日ノ本学園高校・短大チャペル担当

同じ人生でも、喜びのあるのと無いのでは大きな違いがあります。  
 教会は今年で33年になりました。記念礼拝にお出かけくださり、聖書から  
 「喜びの発見」をされますことを心から願っています。ぜひお出かけください。

町田バプテスト教会  
 町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。  
<http://goodnews194.com>

### 日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減  
 になっている顔と心。天を仰いで  
 生きる元気を取り戻して下さい。



毎日曜  
 I AM10:30~12:00  
 II PM 4:00~5:00

### 教会学校

幼児から大人まで、クラスに分か  
 れて聖書を学んでいます。どの世  
 代にあっても聖書の学びは生涯の  
 道しるべとなります。



毎日曜 9:00~10:00

### 水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、  
 メッセージに耳を傾けます。講解  
 説教で順番に学んでいるので聖書  
 を知りたい方に最適です。



毎水曜 19:30~21:00

### 壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集  
 会や教会カフェ、日帰り温泉など  
 サークル的な活動もあります。

毎月第2日曜  
 13:30~15:00



### 婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えてい  
 る課題を話しあい、喜びも困難も  
 分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜  
 13:30~15:00



### 青年会

大学生から社会人まで、月1回、  
 ともに集まり賛美をし、語り、励  
 まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜  
 13:30~15:00



### 子育てサークルハンナの会

ハンナの会は子育てに疲れたり、  
 悩んでいるお母様に元気を与える  
 会。お子さまはお預かりします。

毎月第3火曜  
 10:30~13:00  
 昼食付



### ツールペイントサークル

賛美とメッセージのひとつ。花  
 を描きながら心を解放するひとと  
 き。お茶を飲み、語らうひととき。  
 毎月第1水・金 10:00~12:30



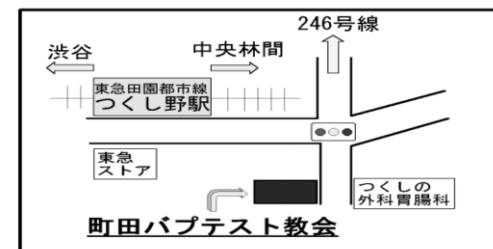
### 木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性た  
 ちがりのままの自分でいられる  
 場所。希望と勇気が与えられる時。  
 毎週木曜 10:30~12:00



前回の号から新企画「私のお気に入り(マイフェイバリット)」をス  
 タートさせました。2回目は開業医から豪華客船の船医になられた横山  
 先生が執筆されています。ユーモアあふれる「シリーズ② 私のお気に  
 入り」をお楽しみください。

- ・集会は参加自由です。お気軽に、お越しください。
- ・質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- ・送迎の必要な方は、ご遠慮なく申し出ください。
- ・町田市つくし野 2-31-4
- ・TEL&FAX 042-796-3822



### 編集後記

「ともしび通信 76号」をお届けします。  
 町田バプテスト教会では6月22日(日)に  
 教会設立 33周年記念の特別伝道集会を開  
 催。兵庫県の姫路バプテスト教会の春田敏一  
 先生が来会して下さり、「教会学校」「I 礼  
 拝」「II 礼拝」の3回にわたりメッセージを  
 して下さいます。どうぞ、ご都合のつく時  
 間に気軽にお越しください。

## 単立 町田バプテスト教会

□町田市つくしの2-31-4 ●http://goodnews194.com  
 □042-796-3822 ●mail:machida@church.email.ne.jp

一番価値あるものに人生を使う喜び

「天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。」  
マタイ13章44節

青年時代、19歳で教会に集うようになって、冒頭の聖書のことばを知りました。偶然に畑で宝を発見した人が、自分の所有物すべてを処分してその畑を買った喜びの様子が目に見えかぶようでした。

その頃の自分は喜びのかけらも無い様な生活をしていましたので、天の御国の意味はよく分かりませんでした。だが、聖書に書かれている言葉が胸に迫ってきて、神様を信じて信仰を持ちました。

それから50年近く経ちましたが、「畑に隠された宝」は本当だったと日々喜びの生活をしています。今考えると、人は本当に価値のあるものに自分の生涯を使う時、内側から喜びと感動が湧いてくるものだと思います。その反対に価値のないものに、一回しか無い人生の尊い時間と労力使つたら、後で悔やんでも悔やみきれないかもしません。

中学生の頃から、自分の心の弱さ(自信のなさ)をいつも感じていました。そのために試験や困難で追いつめられると、いつか「心の病氣」になってしまふのではないかという恐れを抱いていました。

そんな時、ある方から「感謝のあるところには病まない」と言うことを聞きました。聖書に「すべての事について、感謝しなさい。」(1テサロニケ5・18)とありますが、心配や不安が心に浮かんできたら、少しでも感謝できることを探すようにしました。



牧師室より 松本俊雄 牧師

私的映画批評

「善き人のためのソナタ」  
2006年独作品  
松本勇哉

1984年、壁崩壊前の東ドイツでは、シユタージという秘密警察が反体制派市民の監視を行っていた。ヴィースラーは、国家と党に忠誠を誓う有能なシユタージの役人である。あるとき彼は、劇作家ドライマンの監視を命じられることとなる。

任務を忠実に行うヴィースラーだったが、ドライマンの西側の文化に傾倒しながらも、その裏側では私欲に満ちている上官達の間で、その心は揺れ動かしつゝ。

この映画は、たった数十年前に東ドイツで行われていた出来事を通して、「自由に生きる」ということを考えさせられる作品だ。信念に従うということ、自分の思い通りにすることではない。自分のことを考え、共に生きる仲間達のことを考え自分の今いる環境で何が一番大切か探し続けることである、そんなことを教えてくれる。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」聖書のこんな言葉を思い出した。ヴィースラー役の俳優は、その昔東ドイツでシユタージに監視されていたそうだった。その演技に感銘を受ける。



感謝のあるところには病まない

そんな時、ある方から「感謝のあるところには病まない」と言うことを聞きました。聖書に「すべての事について、感謝しなさい。」(1テサロニケ5・18)とありますが、心配や不安が心に浮かんできたら、少しでも感謝できることを探すようにしました。

そのような生活を続けるうちに、自分にも不安の要素より、感謝できる要素の方が多い事に気がつくようになったのです。今でも、不安や心配が無くなった訳ではありませんが、それにまさる「恵みがある」ときに、感謝の気持ちを持って、毎日精一杯生きています。

婦人会リレーアナタに出会えて嬉しい



励ましが育ててくれる  
松岡律子

神様がわたしに導いて下さったその方は、中国語の女性教師でした。台湾在住時に、わたしもその方に習っていました。明るく元気な先生で授業以外にも様々なボランティアをされていました。

そのうちの一つは病院での日本語通訳。日本人の母をもつ先生は「あなたは日本語が出来るのだから困っている日本人を助けなさい」と言われて育ったそうです。そのことは通り、わたしは家族もそれぞれが病院でお世話になり大変心強かったのを覚えていきます。

しかし先生は私達の帰国後、突然のガンで亡くなられたのでした。亡くなる直前まで気丈に授業をされ、最後まで先生らしいお姿だったようです。神様はどの様な目的で先生を奪ってしまったのかはわかりません。

先生がおっしゃっていた中国の言葉があります。『活到老、學到老(死ぬまで勉強しなさい)』。私はいま、ある資格に挑戦していますが、くじけそうな時にはいつも先生が励まして下さっているような気がします。このように出会いを通して私の人生を豊かなものにして下さる神様に心から感謝し、今後も期待して生きていきたいと思っております。

シリーズ 私のお気に入り



安眠第一  
横山英一

人さまに紹介できるような「お気に入り」の物や趣味は、ほとんど思い当たらない。お気に入りの賛美歌なら幾つもあるが年とともに変わるのでお気に入りといえない。クラシック音楽は好きだが、シベリウスの交響曲2番を聞いても最近心が震えなくなりました。

一体、自分は何が好きなのだろうか？昔から「仕事が趣味みたいなもの」と思っているが、イヤミっぽくて口には出せない。

日本人の20%は「不眠症」に悩んでいるそうだ。私は、65年間の人生で3回だけ「不眠」に悩まされたことがある。失恋、転職の悩み、新規開業前のプレッシャー。それだけのことであって不眠症ではなかった。それ以外はいたって安眠の毎日を過ごしている。

ところが、安眠こそ「my favorite」！神様から与えられる恵みなのだ改めて気がついた。きのうもこれを感謝して寝ようかと思う前に眠ってしまった。クリスチャンには永遠の命が与えられているから、死は永眠ではなく、よみがえって天国に移される、その時までせめて感謝して眠りにつきたいと思っております。